

第2回白馬村食育推進会議 会議録（要約）

召集年月日	平成24年3月2日（金）午後3時			
召集の場所	白馬村役場 302会議室			
開閉会の日時 及び宣言	開会	平成24年3月2日（金）午後3時	副会長	篠崎久美子
	閉会	平成24年3月2日（金）午後4時20分	副会長	篠崎久美子
出席者数	委員数 16名の内 出席者13名			
出席委員	職名	氏名	職名	氏名
	委員	齋藤 都	委員	岩井良三
	会長	松沢正猛	委員	田中みつる
	委員	福島和子	委員	中山晴隆
	委員	塩島久美子	委員	平林 豊
	委員	横山秋一	委員	横川宗幸
	副会長	篠崎久美子	委員	太田昭子
	委員	武田 進	欠席委員 飯澤裕美、田中泰之 松澤文子	
事務局	住民福祉課長	倉科宜秀	住民福祉課 保健介護係長	津滝明子
			住民福祉課 管理栄養士	下川 玲
傍聴者	なし			

1. 開 会

〔副会長：篠崎副会長〕 開会を宣言した。

2. あいさつ

〔松沢会長〕 第2回協議会への出席に対しお礼を述べ、事務局で作成した素案をもとによりよい計画づくりにつながるよう、活発な意見を求めるとともに有意義な協議となるようお願いした。

3. 協議事項

(1) 経過について

〔議長：松沢会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：津滝係長〕

前回第1回会議でいただいたご意見をもとに事務局で素案を作成し、あらかじめ学識経験者の意見を求め、修正したうえで事前に各委員へ素案を送付したところである。本日は各委員から事前に出された意見をもとに事務局で再修正した素案について、協議したうえで素案としてまとめていきたい旨説明。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めたが、特になく次の協議へ進んだ。

(2) 素案について

〔議長：松沢会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：下川〕 資料1-1により、第2章 白馬村の食に関する現状と課題について説明。

〔事務局：津滝係長〕 資料1-1・1-2により、各委員から事前に出された意見をもとに修正した箇所について説明。また、意見を求め検討したい箇所として、次の2箇所について、それぞれ意見を求め検討していきたい旨説明があった。1つ目は、基本目標として掲げた3つの目標にある「1 規則正しい生活リズムと望ましい食習慣で、小児からの生活習慣病予防」の文末についても、他の2つの目標とそろえ「～づくり」とした方がよいのではないかという意見について、2つ目は実施したアンケート調査の項目から目標値として設定した「年間を通して地産地消を実践している人の割合」であるが、抽象的な表現であるため、より具体的な指標とした方がよいのではないかという意見に対し、それぞれ意見を求めながら検討したい。

〔議長：松沢会長〕 事務局からの説明にあった修正箇所等を踏まえ、素案についての意見を求めた。

〔篠崎副会長〕 第2章において現状を表した各数値について、根拠として実施した調査の概要を掲載した方がよいのではないか。

〔事務局：下川〕 掲載した数値の根拠となる調査について、実施時期や対象者等、文頭に追記したい。

〔中山委員〕 基本目標の文末については、「規則正しい生活リズムと望ましい食習慣づくり」としてはどうか。

〔事務局：下川〕 生活習慣病予防としての食育についても取り組んでいきたいところではある。

〔武田委員〕 ここでいう目標とは獲得目標であり、最終目標である。生活習慣病予防とは最終目標であるため、後半部分は削除し中山委員の意見のとおりとしてよいのではないか。

〔議長：松沢会長〕 両委員の考えについて意見を求めたが他になく、基本目標については「規則正しい生活リズムと望ましい食習慣づくり」とすることで了承された。

〔中山委員〕 目標値として設定した地産地消の箇所をはじめ、食育という観点では全体を通して地産よりも地消について強く出てしまう傾向にあると考える。地産にあたる農の面についてもより内容を深め、アピールしていく必要があるのではないか。よって、地産地消の実践についての評価指標は「身近な地域の食材を取り入れようとしている人の割合」としてはどうか。

〔議長：松沢会長〕 中山委員の考えについて意見を求めたが他になく、評価指標を「身近な地域の食材を取り入れようとしている人の割合」とするとともに、計画策定後の評価時における同アンケート調査については、この表現を用いながら、生産者側の地産と消費者側の地消の考えを分けて意見を伺えるよう、評価指標について検討しながら実施していくで了承された。

〔篠崎委員〕 第4章にある目標達成に向けた取り組みについて、表にある目標と施策・取り組みの両者が重複している箇所が見受けられる。目標は内容を端的に表す分かりやすいものとし、施策・取り組みは具体的な活動や展開等について掲載した方がよいのではないか。

〔事務局：津滝係長〕 意見のとおり、両者の表現について再度検討し修正していきたい。

〔塩嶋委員〕 校内でも素案について検討したが、計画としてより白馬らしさがほしいところである。文中にもある、白馬らしさを生かした計画とは、本村ならではの郷土料理とは、白馬ならではの食づくりとは何であるのか、食育推進を図るひとつとして学校給食においても具体的に行動していくための計画であることを望む。

〔中山委員〕 同意見である。第2章の現状と課題を見ても、本村の特徴的な現状や課題が見えず、白馬村らしさ、というものが見えてこない。さまざまな食育を展開するうえで、必要な課題が多く盛り込まれているが、一方で目標と直接つながるような村の現状・課題が掴みづらい。第1章に記載された身土不二や医食同源といった表現から、白馬村の豊かな風土や自然、食材を生かした食、栄養バランスをとりながら疾病を予防するための食、といったような結びつきがほしい。

〔事務局：津滝係長〕 意見のとおりである。本村ならではの現状と課題については、第2章の中で村ならではの特徴や、目標とつながるような現状・課題について、文章を追記していきたい。

〔田中委員〕 隣市の大町市では2年かけて食育計画を策定した経過もある。本村における計画では、この素案をもとに、まず骨子として大きく全体を盛り込んだ内容としながら、年度ごとに現状を踏まえた白馬ならではの食育推進について細分化して取り組んでいくのでもよいのではないか。本日欠席の飯澤

管理栄養士についても同意見である。

〔議長：松沢会長〕 田中委員の意見について意見を求めたうえで、事務局で再度本日出された意見をもとに再度素案に修正を加え、策定につなげながら、来年度以降年度ごとにより具体的な白馬らしい取り組みを進めていくこと、協議を重ねていきたいことです承された。

(3) 今後の進め方について

〔事務局：津滝係長〕 資料 2-1、2-2 により、策定に向けての今後の事務局の考えと、計画素案の意見募集（パブリックコメント）実施について説明。計画策定は 4 月下旬と記載してあるが、今後の協議の進行状況等により、多少変更する可能性も考えられる。策定に向け、意見を伺いながらよりよい計画策定に向け、引き続き協力を求めたい旨説明があった。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対し、意見を求めたが特になかった。本日の協議をもとに、事務局で素案を再度修正していくこととなる。今後他に意見があれば、事務局へ早めに伝えるとともに、修正・検討を重ねていていただきたい旨伝え、今後の進め方について了承された。

4. 閉 会

〔篠崎副会長〕 閉会を宣言した。

終了 16:20

以 上